

設備管理図面 自動生成システム

【概要】

設備の属性データと図面データをテキスト形式で統合管理し、設備台帳から必要箇所・範囲の設備管理図面を自動生成する機能を備えた設備管理システムを開発しています。これまでの保線・土木・信通系統の図面に加え、保守管理の効率化と図面生成手法の有用性を高めるため、電力系統として、電車線路平面図の自動生成を可能としました。

【特徴】

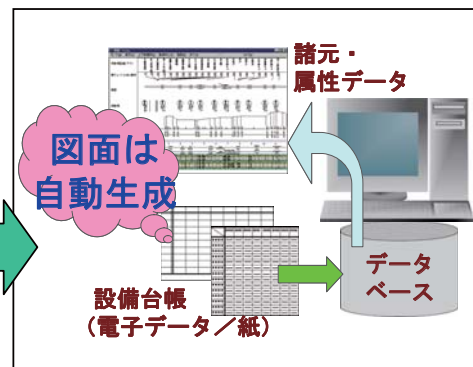
- ・ 設備台帳の属性データと設備の位置情報をテキスト形式で一元管理し、それらを用いて図面を自動的に作成します。
- ・ 設備の変更／追加の際、設備台帳データを修正するだけで図面に反映でき、設備管理の効率化が図れます。
- ・ 図面データをコンパクトに格納できるため、今後益々必要性の強まる携帯端末への適応性にも優れています。
- ・ 一つの現場に複数系統の作業者がいる場合、同一のプログラムで、それぞれのニーズに合わせて必要な図面を任意に構成することが可能です。

【用途】

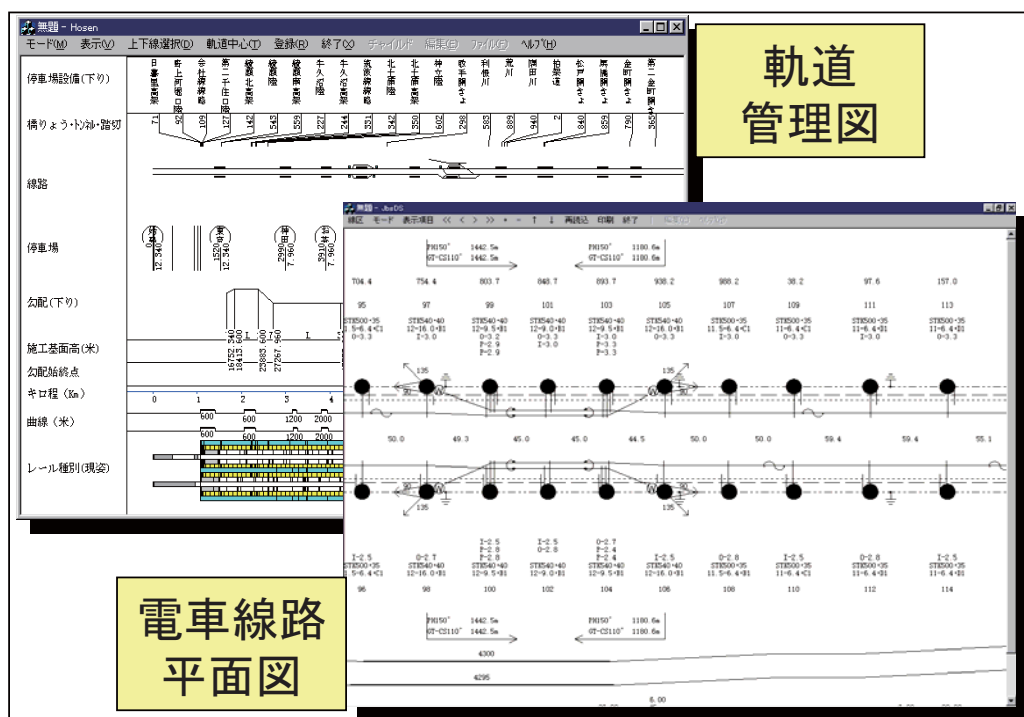
- ・ 本手法を用いた図面・台帳管理機能に加え、保守検査等の外部データと連携を図ることで、総合的な設備管理システムが実現できます。
- ・ 設備管理図面自動生成システムは、保線、土木、信号の各保守現場に実用システムとして展開しています。
- ・ 電力系統にも適用範囲を広げることで、さらに設備保守業務の効率化が図れます。



従来のデータ管理方式



図面生成方式



設備管理図面自動生成例